

令和8（2026）年度

学校園利用のご案内

～施設利用ハンドブック～



京都府立るり溪少年自然の家
（グリーンパルるり溪）

【お問い合わせ】

電話 0771-65-0190 FAX 0771-65-0191

もくじ

はじめに	1
1. 料金表	2
2. 施設概要一覧表	3
3. キャンセルについて	4
4. 緊急時の対応について	4
5. 入所前について	5
6. 入所後について	6
7. シーツと寝具について	7
8. 宿泊室について	9
9. 付帯設備について	9
10. 貸出備品について	11
11. 館内食堂について	12
12. 野外炊飯について	13
13. キャンプファイアについて	18
14. キャンドルファイアについて	19
※ キャンプファイア・キャンドルファイアの活動例等	20
15. 入浴・消灯について	22
16. 清掃・点検について	22
17. 精算・退所について	24

【参考資料】

るり溪少年自然の家 周辺マップ

るり溪少年自然の家 施設マップ

館内マップ（本館平面図）

食堂平面図

クラフト棟平面図

野外炊飯場平面図

クイズラリーマップ

グリーンアドベンチャー問題&マップ

はじめに

この「学校園利用のご案内～施設利用ハンドブック～」は、るり溪少年自然の家を利用される学校園の皆さまが、より安心してスムーズにプログラムを展開するためのお役立ち情報を掲載したものです。

また、別冊の「利用のしおり」や「活動プログラムのしおり」の内容を抜粋あるいは補足し、引率される教員の皆さまに特に知っておいていただきたいことやよくお問い合わせのある内容などを時系列にまとめています。

あわせて、施設の平面図やグリーンアドベンチャーの問題やマップなど、宿泊学習のしおりの原稿としても活用できます。

つきましては、事務担当の教員に留まらず、引率される全ての皆さまにもご一読の上、児童・生徒の皆さまへの適切なお指導とプログラムの安全管理にお役立てください。

1. 料金表

1. 施設使用料

■宿泊利用

	小・中学生	高校生	大学生・一般
館内泊	340円	580円	1,160円
テント泊	170円	290円	580円

※未就学児はシーツ代のみ

※テント泊のご利用でも、食堂・浴室等の館内設備を利用される場合は、館内泊扱いとなります。

■日帰り利用

プレイホール：2,900円 研修室・クラフト室：2,320円

■シーツ代

シーツ使用料1人1枚（2泊まで）：300円

■冷暖房費

	冷房	暖房	
宿泊室	570円	1,110円	1区分（8時間）
プレイホール	810円	880円	1時間単価
研修室	560円	630円	
談話室	140円	280円	
クラフト室	560円	630円	

【宿泊室時間区分】

- ・14時～22時
- ・22時～6時
- ・6時～14時

2. 食費

給食		朝食	昼食	夕食	合計
		640円	760円	910円	2,310円
野外炊飯材料	朝食	ごはん食・パン食・ホットドック			640円
	昼食	カレーライス・ハヤシライス・クリームシチュー・豚汁&山菜ごはん・焼きそば			760円
	夕食	カレーライス・ハヤシライス・クリームシチュー・豚汁&山菜ごはん・焼きそば			910円
BBQセット（昼食・夕食）		お手軽コース（燃料費・消耗品費等込み）			3,000円
		スタンダードコース（燃料費・消耗品費等込み）			3,500円
		大満足コース（燃料費・消耗品費等込み）			4,000円
弁当		お手軽弁当（魚・豚生姜焼き・ハンバーグ）			780円
		幕の内弁当（魚・豚生姜焼き・ハンバーグ）			970円
その他		炊き米1合（330g）			230円

※上記以外の特別メニューを希望される場合はご相談ください。

3. 補食

パン（クリーム・ジャム）	160円	麦茶（ペットボトル2ℓ）	250円
ジュース（アップル・グレープ）	140円	麦茶（ペットボトル500ml）	150円
アクエリアス（ペットボトル500ml）	170円	クーリッシュ（バニラ・チョコ）	180円

※上記以外の補食を希望される場合はご相談ください。

※小麦・卵・乳成分などの食物アレルギーがある方は、ご注意ください。

4. プログラム費

■燃料費

薪（大）	760円	薪（小）	440円
灯油	150円	木炭 3kg	700円

■クラフト材料費

焼き板	塗料含む	400円	木のはがき	塗料含む	300円
キーホルダー	塗料含む	300円	まが玉	工具使用料含む	350円
万華鏡	工具使用料含む	450円	ひのきのうちわ	塗料含む	380円

■体験プログラム（1人あたり）

火おこし体験（最大15セット）	350円	丸太切り体験（最大4セット）	550円
チームビルディング	1,000円	キャンドルファイア	50円
薪割り体験	300円	忍術修行体験	1,000円
幼児の自然体験	500円	幼児の自然体験（野外炊飯体験付）	800円

5. その他

生ゴミ用袋（45ℓ）	1枚	60円	トング	1本	220円
軍手（綿100%）	1組	110円	BBQ網	1枚	220円
食器用洗剤	1本	220円	アルミホイール	1本	180円
スポンジ	1個	50円	歯ブラシ	1本	50円
スチールウールたわし	1個	30円	タオル	1枚	150円
たわし	1個	100円	コピー	1枚	10円
洗濯用洗剤（25g）	1袋	50円	カラーコピー	1枚	50円

2. 施設概要一覧表

◎ 宿泊室（全て和室）

1階 101～110 号室（10 室） 24.0 畳（7.65m×4.45m）【寝具数 15 名分】

2階 201～208 号室（8 室） 16.5 畳（5.10m×4.45m）【寝具数 10 名分】

敷き布団 掛け布団 毛布 枕（1階各 15 組・2階各 10 組） タオル掛け
掛け時計 常備灯（懐中電灯） ハンガー（寝具数分） ハンガー掛け ごみ箱 ほうき 3 ちり取り 2
下駄箱 荷物置場 テラス（物干し可） 金庫（201～208 のみ）

◎ 宿泊室（リーダー室・全て和室）

1階 111 号室 6 畳 2 間【寝具数 4 名分】 112 号室 7.5 畳【寝具数 3 名分】

2階 209 号室 10 畳【寝具数 4 名分】 210 号室 7.5 畳【寝具数 3 名分】

敷き布団 掛け布団 毛布 枕（111・209 各 4 組／112・210 各 3 組）
金庫 冷蔵庫 座卓 座布団 掛け時計 常備灯（懐中電灯） ハンガー（寝具数分） ごみ箱 ほうき 3
ちり取り 2 ハンガー掛け 洗面台（111・209 のみ） 薬品棚（111 のみ） ロッカー（209 のみ）
テラス（209 のみ）

◎ プレイホール 253 m²（23m×11m）【定員 300 名程度】

研修室 192 m²（16m×12m）【定員 200 名程度】

折り畳みテーブル（180 cm×45 cm） パイプ椅子 座卓 スクリーン ホワイトボード 黒板
キャンドルファイア用燭台 電子ピアノ・オルガン（プレイホールのみ） ピアノ・エレクトーン（研修室のみ）

◎ 談話室 60 m²（10m× 6 m）【定員 24 名】

木製机（180 cm×45 cm） 椅子（24 人分） スクリーン ホワイトボード テラス

◎ クラフト棟 132 m²（12m×11m）【定員 70 名程度】

作業机（190 cm×120 cm） 9 台 木製椅子（54 人分） スクリーン（持ち運び方式） ホワイトボード（常設）
テラス

◎ 食堂【定員 220 名程度】

テーブル 椅子 電子レンジ（アレルギー対応用）

◎ 洗面所

食堂前 蛇口 9 口 給茶用テーブル 2 台

1階中央 蛇口 34 口 給湯器 1 台 洗濯機 2 台・乾燥機 1 台

2階中央 蛇口 26 口 給湯器 1 台 洗濯機 2 台

◎ 浴室①【定員 15 名】シャワー12・カラン 12 脱衣棚 40 ドライヤー 1 台

②【定員 20 名】シャワー15・カラン 13 脱衣棚 56 ドライヤー 2 台

椅子 桶 ボディソープ リンスインシャンプー 介助イス

◎ 館内トイレ（※印：温水洗浄便座）

	男子（小）	男子（大）	女子
玄関横	6 基	和式 1 基・洋式 1 基	和式 5 基・洋式 1 基
1階中央	7 基	和式 1 基・※洋式 3 基	和式 4 基・※洋式 4 基
		※洋式 1 基（身障者用）	
2階中央	7 基	和式 1 基・※洋式 2 基	和式 3 基・※洋式 4 基

◎ 野外炊飯場【定員 120 名】

木製食事テーブル・椅子 かまど（屋内・屋外各 16 基） 蛇口 32

トイレ：男子用（小） 4 基・（大）洋式 1 基、女子用和式 2 基・洋式 1 基

◎ その他

玄関ポーチ：荷物棚（大小計 7 台） 掃除機 2 台

玄関ホール：下駄箱 72 足分×6 面=432 足分 デジタルサイネージ

資料展示コーナー：テレビ（32 インチ） 1 台 ソファ 3 点セット 2 なんとん暖炉

キッズコーナー：遊具セット

食堂前：自動販売機（ソフトドリンク）

1階・2階廊下：専用掃除機各 5 台

営火場 A・B：木製ベンチ 掲揚柱 電源設備 リヤカー 2 台 一輪車（深型 3 台、浅型 5 台）

3. キャンセルについて

利用申請書類一式を提出後、団体の都合で利用をキャンセルする場合は、次のとおり食費に関するキャンセル料が発生します。

利用開始日の7日前まで	キャンセル料は発生しません
利用開始日の6日前から前日	食費×50%×食事申込数+振込手数料
利用開始日の当日	全額+振込手数料

なお、「京都府の南部」または「南丹市」の予報区分で気象警報の発令によりキャンセルする場合は、キャンセル料は不要です。利用を中止する場合は速やかに連絡してください。

4. 緊急時の対応について

① 病気・ケガの対応について

割り当てられた宿泊室内で保健室を設置してください。救急薬品及び常備薬等は団体で持参してください。病気・ケガ等で救急医療を必要と判断する場合は、医療機関やご家族に連絡するとともに事務室に連絡してください。

主な近隣医療機関は次のとおりです。

▽ 園部病院（少年自然の家より車で約35分）

住所：南丹市園部町美園町5号8-7 TEL：0771-62-0515

▽ 京都中部総合医療センター（少年自然の家より車で約45分）

南丹市八木町八木上野25 TEL：0771-42-2510

※ 緊急搬送用の車はありません。

医療機関等への緊急搬送が必要な場合は、学校園で準備する公用車、もしくは救急車・タクシーで搬送してください。

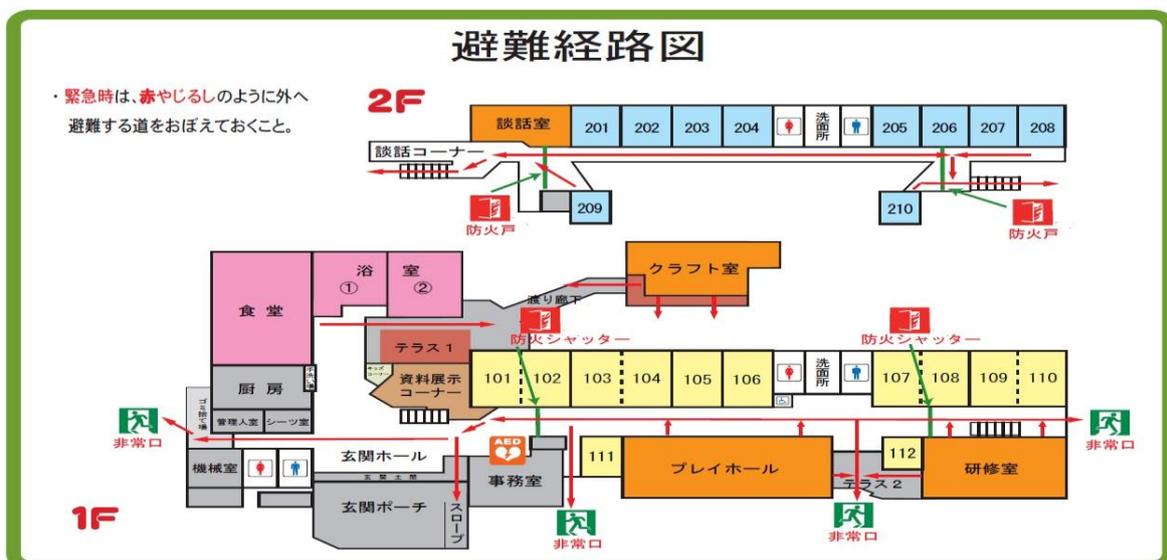
※ 健康保険証のコピーに関する問い合わせは、予め医療機関に確認してください。

※ AED（自動体外式除細動器）及び救助担架は、事務所前に設置しています。

② 入所されたら、まず避難経路と非常口を必ず確認してください。避難経路図は、各部屋入口の扉に掲示しています。



【避難経路図】



- ③ 消灯以降に急病人が出るなど、緊急時に宿直している職員を呼ぶ必要がある場合は、事務所の扉の横にあるチャイムを押すか管理人室に連絡してください。

【事務所の扉の横にあるチャイム】



5. 入所前について

- ① 利用開始日の夕食の食数は、**利用当日午前 11 時**まで変更が可能です。学校園で集合された時点で食数の変更が必要な場合は、連絡してください。（利用開始日の 7 日前を切ると 5 食以上の変更ができません。詳しくはお問い合わせください。）
- ② 昼食用の弁当が注文できます。退所日の昼食だけではなく、入所日等の昼食として施設の敷地外で食べることもできます。11 時以降に食堂でお受取りください。弁当は 6 種類あり、お手軽弁当として、魚弁当、豚生姜焼き弁当、ハンバーグ弁当の 3 種類、幕の内弁当として、魚弁当、豚生姜焼き弁当、ハンバーグ弁当の 3 種類があります。
注文は 6 種類の中から 1 種類のみ選択していただくことになります。
また、ペットボトルのお茶など別料金で販売しています。
- ③ 入所前に溪流散策などで、先に大きな荷物だけを置く場合は、荷物棚を利用してください。荷物棚に置ききれない場合は、玄関ポーチ（玄関扉の外側）の動線を確保して床に置いてください。なお、2 団体が同宿の場合は、1 階利用の団体は本館に向かって右側、2 階利用の団体は左側に置いてください。なお、荷物の運搬及び管理は学校園で行ってください。

【荷物置場】



- ④ 13 時以降の入所を基本としていますが、入所前に敷地内で弁当を食べる場合は、前泊の宿泊団体が使っていないエリアであれば利用できますので、利用当日に職員に確認してください。

- ⑤ 入所当日の弁当ゴミは、専用のゴミ袋（45ℓ）を購入すれば施設で処分できます。ゴミ箱は、駐車場に向かって右側（下図参照）に設置しています。



- ⑥ 入所までに、宿泊人数や食数等を再度確認しておいてください。
 ⑦ 入所は 13 時以降となりますので、早く到着した場合でも屋外で待機してください。
 ⑧ 原則としてプレイホールや研修室等での飲食はできませんが、雨天時など屋外で弁当を食べることができない場合は、食べる場所を指定しますので、利用当日に職員に確認してください。

6. 入所後について

- ① 下駄箱は、1 階の利用団体は本館に向かって事務所に近い右側、2 階の利用団体は左側の団体名を表示したところを使用してください。

【下駄箱の位置】



- ② 館内では、安全と衛生管理上、清潔な上靴を履いてください。入所時にまず必要となるのが上靴ですので、直ぐに出せるようにご指導ください。なお、児童・生徒、教員に限らず、同行のカメラマンや看護師、運転手の方々にも上靴を持参してもらうよう伝えてください。
 ③ 入所式では、必要に応じて職員がごあいさつしますので、事務所にお声掛けください。また、施設の利用方法や諸注意等のオリエンテーションが必要な場合は、事前に相談してください。

④ 入所式終了後に入所ミーティング（打合せ）を行いますので、担当の教員は事務所にお越しください。入所ミーティング（打合せ）では、次のことを確認します。時間は10～15分程度です。

- | | |
|------------------|----------------------|
| ▽ 欠席者の有無 | ▽ 最終の区分別・性別の宿泊者数 |
| ▽ 最終の食事の注文数 | ▽ 食物アレルギーがある場合の内容 |
| ▽ 野外炊飯の包丁・ピーラーの数 | ▽ 各活動プログラムの時間・内容 |
| ▽ クラフト物品や補食等の注文数 | ▽ 共用の清掃場所の確認 |
| ▽ 冷暖房の使用の有無 | ▽ 精算方法(支払方法確認書)の内容など |

⑤ 利用者名簿で年齢や性別、住所などの未記入がある場合は、入所ミーティングで記入してもらいますので、あらかじめ確認しておいてください。

⑥ 精算は、現金、キャッシュレス決済等からお支払いください。

キャッシュレス決済は、VISA・JCBなどのクレジットカード、ICOCAなどの交通系電子マネー、アップルペイなどの電子マネー、PayPayなどのQR決済などです。キャッシュレス決済でお支払いの場合は、入所ミーティングの際にお申出ください。



⑦ 領収書は一括で良いか、分ける必要があるかをあらかじめ確認しておいてください。

分ける必要がある場合は、児童・生徒、教員、カメラマンや看護師の方など、どのように分けるのか、また、分ける場合で別の宛名が必要な場合は確認の上、支払方法確認書に必要事項を記入し、入所ミーティングにお越しください。

7. シーツと寝具について

① シーツは、必ず1人1枚使用してください。2泊までは同じシーツを使用し、3泊以上の場合は2泊おきに新しいシーツに交換してください。

② 団体毎にシーツ室前の机に必要な枚数を準備していますので、枚数を確認の上、担当教員から児童・生徒に手渡ししてください。枚数が間違っている場合は事務所にお問い合わせください。なお、シーツ室への入室はご遠慮ください。返却時には、各宿泊室に掲示しているとおりにたたみ、紐でくくらずシーツ室前の返却袋に入れてください。

【シーツ置場】



【シーツの返却袋】



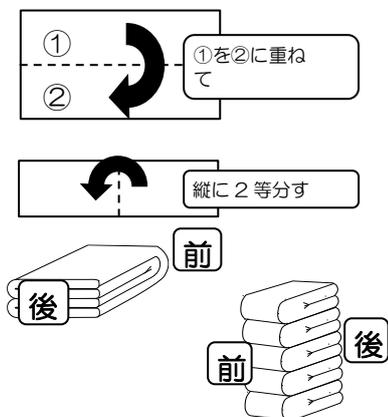
③ 寝具が汚れた場合は、洗濯が必要となりますので事務所に連絡してください。毛布・敷き布団は各1枚2,100円、掛け布団は1枚2,800円、枕は1つ400円の洗濯代をお支払いいただけます。なお、シーツは汚れても洗濯代は発生しません。

④ 保健室用のシーツが必要な場合は、有料で提供します。

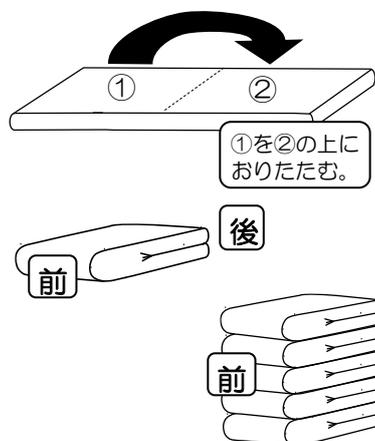
⑤ 敷き布団や掛け布団、毛布、シーツのたたみ方は、各宿泊室に掲示しています。2人一組で行うとたたみやすく、きれいにたためます。

【寝具類のたたみ方】

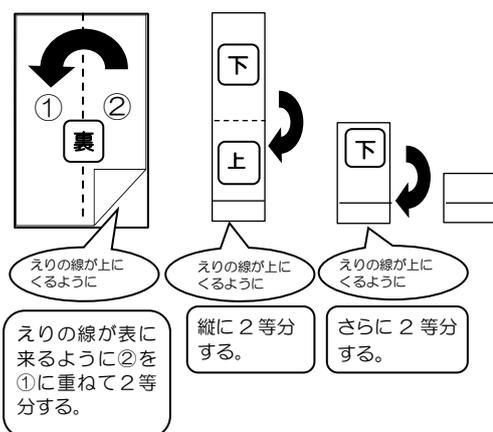
かけぶとんのたたみ方



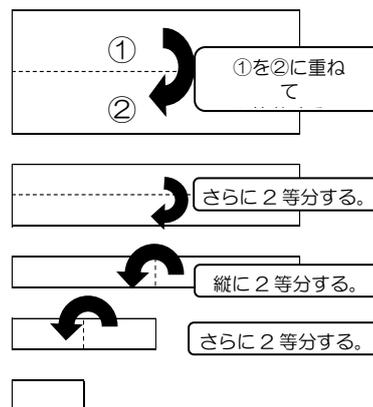
しきぶとんのたたみ方



毛布のたたみ方



シーツのたたみ方



たたんだ寝具は、写真のように出した棚の前に置いてください。

8. 宿泊室について

- ① 1階 101～110号室の点線部分の間仕切りは、105～106号室を除いて外すことができます。間仕切りを外して使用する場合は、入所までにあらかじめ連絡してください。



- ② 宿泊室の冷暖房は、出入口の反対側の壁にエアコンの操作盤があります。冷暖房は別途料金がかかりますので、使用する場合代表者から各部屋に伝えてください。また、暖房はエアコン以外に、電灯スイッチ横にあるファンコイルユニットでつけることができます。どちらの暖房が利用できるかについては、入所ミーティングで説明します。

【宿泊室のエアコン操作盤】



【宿泊室のファンコイルユニットスイッチ】



9. 付帯設備について

- ① プレイホール・研修室

- (1) 長机やパイプ椅子などは、自由に使用できますが、使用後は必ず元の状態に戻してください。また、大きなガラス扉は非常口を兼ねていますので、常時、荷物などでふさがないようにしてください。
- (2) 冷暖房は、出入口の反対側の窓側にエアコンの操作盤があります。また、暖房はエアコン以外に、電灯スイッチの側にあるファンコイルユニット（下図○印）でつけることができます。どちらの暖房が利用できるかについては、入所ミーティングで説明します。なお、冷暖房は別途料金がかかります。

【プレイホール・研修室の
エアコン操作盤】



【ファンコイルユニットスイッチ（丸印）】

【プレイホール】

【研修室】



- (3) Wi-Fi環境を設置していますので、活動等で利用する場合に活用してください。パスワードは入所ミーティングでお伝えします。

② 談話室

- (1) 木製机は折りたたみ式になっていますので、机と椅子を端に寄せて利用できます。机と椅子を移動した場合は、退所までに元の状態に戻してください。
- (2) 冷暖房は、入口を入れて左側にエアコンの操作盤があります。また、暖房はエアコン以外に、電灯スイッチ横にあるファンコイルユニットでつけることができます。どちらの暖房が利用できるかについては、入所ミーティングで説明します。なお、冷暖房は別途料金がかかります。

【談話室のエアコン操作盤】



【談話室のファンコイルユニットスイッチ】



- (3) Wi-Fi 環境を設置していますので、活動等で利用する場合に活用してください。パスワードは入所ミーティングでお伝えします。

③ クラフト棟

- (1) 冷暖房は、入口を入れて左側にエアコンの操作盤があります。なお、冷暖房は別途料金がかかります。



- (2) プロジェクターを使用する場合は、持ち運び式のスクリーンがありますので、任意の場所に設置して使用してください。
- (3) Wi-Fi 環境を設置していますので、活動等で利用する場合に活用してください。パスワードは入所ミーティングでお伝えします。

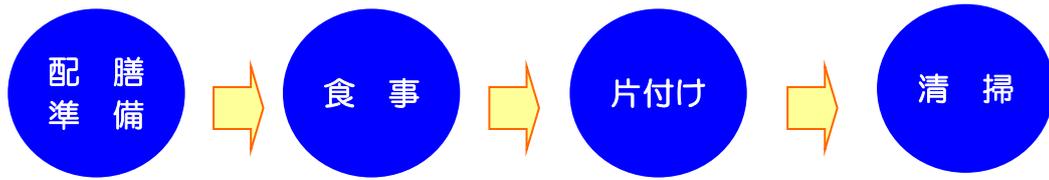
10. 貸出備品について

① 施設から貸出できる備品は、以下のとおりです。各備品の数量には限りがあります。

【ワイヤレスアンプ (カセット付)】	【CD ラジカセ】	
		
【プロジェクター】		
   <p>プロジェクターは VGA 方式ですが、持参されたパソコンが HDMI 方式の場合は、VGA 方式への変換アダプタで接続できます。</p>		
【DVD デッキ】	【スピーカー】	
		
【電気ポット】	【延長コード・コードリール】 (電工ドラム)	【ビブス】 (クイズラリー用)
		

上記以外にもホワイトボードマーカーセット、バインダー、火の神衣装、卓球セット、インディアカ、ソフトバレーボール、巨大オセロなども貸出し可能です。

11. 館内食堂について
＜食事の流れ＞



※ 食事の配膳は食事開始時刻 15 分前からできますので、必要最小限の食事係の指導者及び児童・生徒等の利用者で配膳をしてください。

配膳前の状態

① 配膳準備

- (1) 食事数を確認してください。
- (2) それぞれの席に、おかずプレート、ご飯、汁物、湯茶、箸の配膳をしてください。
- (3) 必要に応じて、ドレッシング等の調味料をテーブルに配置してください。

食数を確認してから配膳してください。



② 食事

- (1) 食堂に入る際は、食堂前で混雑しないよう 時間差を設けるなどの工夫をしてください。
- (2) 食事前には必ず手洗いをしてください。
- (3) 水筒補給用のお茶は、ウォータージャグで準備しますので、食堂を出たところの机に入れてください。
(概ね食事申込数×600 ml で提供します)

食事時間の基本は次のとおりです。

【朝食】 7:30～9:00
【昼食】 11:30～13:00
【夕食】 17:30～19:00

③ 片付け・食器の返却

- (1) 残飯など固形物の生ゴミは、ゴミバケツに捨て、汁物の残りなどはシャワーで流してください。
- (2) ビニールやカップ等はゴミバケツに捨ててください。
- (3) お箸、スプーンは返却口のお箸入れ、スプーン入れにそれぞれ入れてください。
- (4) やかん、調味料等は、返却口へ返却してください。



④ 清掃

- (1) 台ふきでテーブルの上をきれいに拭いてください。
- (2) テーブルの下の残飯やゴミを拾い、掃除をしてください。
- (3) 床がぬれている時は雑巾でふき、使った雑巾はゆすぎ絞って元の場所に干してください。
- (4) 椅子は机のラックに収納せず、床に置いたままテーブルの下に戻してください。

清掃用具入れ



食堂右奥にあります。

12. 野外炊飯について

- ① 野外炊飯場の定員は 120 名程度です。2 団体が同宿の場合でも、野外炊飯場の利用は単独利用とします。2 団体とも野外炊飯の希望がある場合は、事前協議会で調整します。
- ② かまどは屋内と屋外に各 16 基あります。ご飯とおかずを両方自炊する場合は、1 班に 2 箇所のかまどが必要となりますので、雨天時を想定すると 8 班以内の班編制を検討してください。なお、晴天時と雨天時で班編成（かまどの使用数）を変更することは可能ですが、食材の仕分けは天候によって変更できませんので、例えば雨の場合は 2 班を合同で調理するなどの対応を検討してください。
- ③ 入所ミーティングで確認した数の包丁・ピーラーを準備していますので、食事担当の教員は事務所まで取りに来てください。
- ④ 食材等の受取場所は、駐車場に向かって右側の食堂厨房の入口を開けたところ（下図参照）で、班毎にカゴに入れてお渡します。
- ⑤ お茶は食事用と水筒補給用（概ね食事申込数×600 ml）を含んだ数のやかんを食材受取時に提供します
- ⑥ 調理器具の使用方法やゴミの分別、かまどの薪組み、火傷やケガに対するリスクマネジメントなど野外炊飯については、必要に応じて職員から説明しますのであらかじめご相談ください。



- ⑦ 食中毒予防のため「つけない」「増やさない」「やっつける」の 3 原則を厳守してください。特に、手に怪我をしている人には調理をさせない、煮込み料理の調理後はできる限り早く食べるなど、衛生管理を徹底してください。
- ⑧ 使った調理器具は洗剤できれいに洗い、ふきんで水気を取って調理器具倉庫の点検台に乗せてください。その後職員が消毒保管庫にて消毒します。
食堂の厨房で受け取ったカゴや調味料などは、厨房に戻してください。
- ⑨ かまどの灰はすべて掃き出し、ペール缶等に入れて灰捨て場に捨ててください。かまどには水をかけないでください。灰捨て場は利用当日に職員より説明します。
- ⑩ 生ゴミ・残飯は黒いゴミ袋（生ゴミ用）に、ビニール等は白いゴミ袋（燃えるゴミ用）に入れてください。洗い場の排水溝に溜まった生ゴミ等もきれいに取り除いてください。

【団体で用意するもの】

軍手(綿 100%)、ふきん、新聞紙、マッチ(ライター)、その他団体で必要な物を準備してください。

【参考】薪の組み方

薪を運び、かまどで薪組みをします。薪(大)(小)各1束で、概ねかまど2箇所分の調理ができます。



薪(大) 2本とその間に薪(小)を数本置く



新聞紙1~2枚を短冊状に切って置く



薪(大) 2本をやや真ん中に寄せて置く



薪(小)を数本置く



薪(小)を数本置く



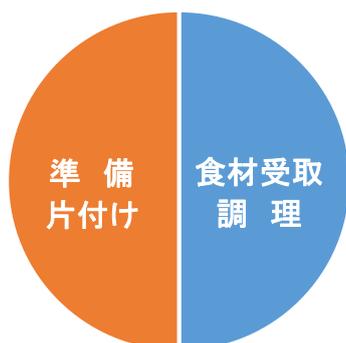
完成

【役割分担】事前に「調理担当」と「かまど担当」の役割を分担します。

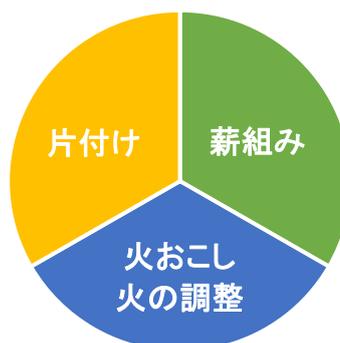
調理担当は、炊事用具を用意し食材を調理する係でかまど担当以外全員。

かまど担当は、薪を運び、かまどで薪を組み、火の管理(火力調節)をしてご飯とカレーを炊く係で人数は各班2人程度。

調理担当



かまど担当



【進め方】カレー作りを例に説明します。

▽「調理担当」の進め方

① 調理担当は、調理に必要なカレー鍋、ご飯用寸胴鍋（または飯ごう）、まな板、ザル、ボウルを調理器具庫から取り出して洗います（食器類は使用後に洗浄・熱消毒をしています）。

② 野菜を調理します。

ジャガイモを洗う → ピーラーで皮をむく → 小さく薄めに切る → 鍋に入れる
ニンジンも洗う → ピーラーで皮をむく → 小さく薄めに切る → 鍋に入れる

※ ジャガイモとニンジンは、火の通りを良くするため、小さく薄めに切るのがポイント



玉ねぎの皮をむく → 洗う → 切る → 鍋に入れる

牛肉を鍋に入れる（こま切れ肉なので袋から出すだけで、包丁で切るの必要がありません）

③ 野菜・肉が入った鍋に、野菜・肉がちょうど水につかる程度（ひたひた）水を入れます。水を入れたら、蓋をしてかまどへ運びます。

食堂からサラダ油の提供がありますが、炒める工程は油はねや直火による火傷のリスクが高いため省略することをお勧めします（炒めないことによる味の変化は、ほとんどありません）。また、焦げ付きのもととなりますので、この時にカレールウは絶対入れないでください。



④ ご飯用寸胴鍋の中でビニール袋の中に入っているお米を出し、お米を3回程度すすぐ程度で洗い、水加減の目安は米の量の1.2倍が基本ですが、野外炊飯では直火で蒸発する水分が多くなることから1.2倍～1.4倍の水を入れます。

⑤ 調理で使ったまな板、ピーラー、ザル、ボウル、包丁を洗い、ふきんで水気を取り除きます。次に、食べる時に必要なカレー皿、スプーン、コップ、お玉、しゃもじを調理器具庫から取り出して洗います。

▽「かまど担当」の進め方

① 薪倉庫から、大小1束ずつ取り出しリングを外します。外したリングは怪我の原因となるため、足を引っかけない場所に集めてください。

② 14ページを参考にし、薪を組みます。

③ 残った薪は火力を調整するのに使用するので、かまどの前を除けて整理します。薪を足したり、動かしたりするときは、火ばさみを使います。

④ カレー鍋とご飯用寸胴鍋の用意ができれば、鍋をかまどに置いてから火をつけます。



- ⑤ 薪を足したり、置き方を変えたり、抜いたりしながら火力を調節します。
カレー鍋はずっと強火でも構いませんがご飯用寸胴鍋は、最初は強火で湯気の量が弱くなれば弱火にします。
- ⑥ ご飯用寸胴鍋の湯気の量をよく見て、炊きあがりを確認します。
湯気の量は「弱」→「強」→「弱」と移り変わりますので、「強」→「弱」になったときに火を弱めてフタを取って炊き具合を確認します。



湯気が少し出始める



湯気が多く出始める



真ん中が炊けていて外側に泡が出ている頃が火から降ろすタイミング。
ご飯に芯があるかどうか確認し、芯がある場合は水を入れて弱火で蒸らす。



- ⑦ ご飯が炊けたら、カレーの具材に火が通っているか確認します。
鍋をかき混ぜ、ニンジンをお玉ですくい、簡単にスプーンで割ることができるまで煮ます。
- ⑧ 野菜が煮えたら火から下ろします。その際、軍手は2重にして大人が運びます。
- ⑨ カレールーをゆっくりと入れます。慌てて入れるとはねて火傷の危険がありますので注意しましょう。その後は、火にかけず余熱で5分程度置き、お玉でかき混ぜてできあがりです。

【注 意 点】 野外炊飯における衛生管理及び安全面のまとめ

① 食中毒

- 調理担当者は、石けん及びアルコール消毒をしてから調理しましょう。
- 炊飯用調理器具は、使用前に必ず洗いましょう。
- 黄色ブドウ球菌による食中毒のおそれがあるため、手に怪我をしている人には調理をさせないようにしましょう。
- ウェルシュ菌の増殖を防止するため、カレーライスなどの煮込み料理の調理後はできる限り早く食べましょう。

② 切り傷

- 手を切る危険性があるため包丁やピーラーの扱いに注意し、刃物を扱う人の周りも、ぶつかったり、急に話しかけたり、手を近づけたりしないようにしましょう。

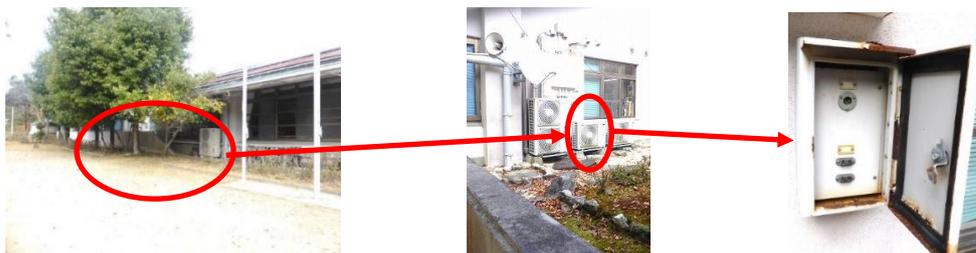
③ 火傷

- かまど担当は、火傷や薪のそげを防ぐため、必ず綿100%の軍手をしましょう。
- 濡れた軍手で熱いものに触れると、一気に熱が手に伝わり火傷をしますので、軍手は絶対に濡らさないようにしましょう。
- かまど周辺は整理整頓し、燃える物などを置かないようにしましょう。
- 火の粉が飛ぶことがあるため、かまどの前に座るのは厳禁です。火をさわるとき以外は、かまどから少し離れて見ましょう。
※火の粉が飛んだ際に、化学繊維の服やダウン生地、エプロンは燃えたり穴が開きやすいため、かまど周辺での着用は避けてください。
- 薪を足したり、動かしたりするときは、火バサミを使いましょう。
- 燃えている火だけではなく、鍋の蓋やかまどの耐火煉瓦、網などかまど周辺も熱くなることを自覚しましょう。
- カレールウを入れるときは、飛び跳ねに注意しましょう。
- 熱い鍋類は、子どもに触れさせず必ず大人が運ぶようにしましょう。

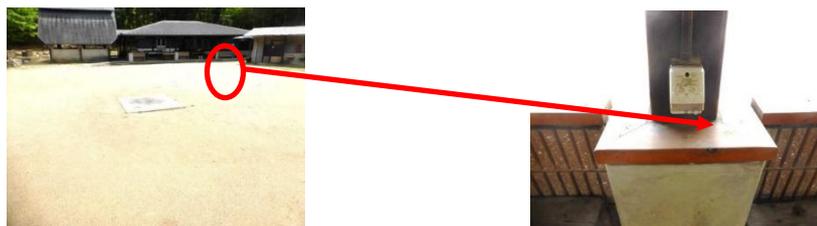
13. キャンプファイアについて

- ① 施設から貸出しできる備品は、火ばさみ、十能、スコップ、金バケツ、ペール缶、ほうき、ちりとり、一輪車、リヤカー、ドラム缶の半切り、ワイヤレスアンプ(カセットテープ使用可)、ハンドマイク、延長コード、コードリール(電工ドラム)、CD ラジカセです。各備品の数量には限りがあります。また、必要に応じてトーチ棒、火の神の衣装を貸出します。
- ② 販売している物品は、薪大・小の2種類と灯油です。学校園からの持参でも構いません。
- ③ 軍手(綿100%)、新聞紙、マッチ、ライターなど必要な物を準備してください。トーチ棒の貸出しはできますが、必要に応じて持参してください。
- ④ 薪組みについては、必要に応じて職員から助言や補助を行いますので、お気軽にご相談ください。助言等が必要な場合は、入所ミーティングで薪組みをする時間等を確認します。また、対象人数と点火から残り火までの時間に応じて、必要な薪の量をお伝えします。なお、ファイアキーパーは、学校園で行ってください。
- ⑤ 点火係の人は、事前に点火の手順をリハーサルすることをお勧めします。トーチ棒で点火するのは、井桁の最上部です。トーチ棒を水平よりも下に降ろすと火が這い上がってきますので、水平よりも上にして点火します。点火後にトーチ棒を燃やす場合は、どのように処理するかを確認してください。
- ⑥ ファイアの点火15分前頃に、薪組みの上部点火口に灯油をかけてください。トーチ棒は、灯油が手前に垂れてこないよう布の部分上部3分の1程度灯油をかけておいてください。
- ⑦ 各営火場の電源(コンセント)は、次のとおりです。

【営火場 B】



【営火場 A】



- ⑧ キャンプファイアの片づけは、残り火には水をかけず、残炭を中央に寄せてまとめドラム缶の半切りをかぶせて朝まで燃やし続けます。強風等荒天の場合の処置については、職員から案内します。
- ⑨ 使用された薪の束数を確認の上、「消耗品等使用申込書」に必要事項を記入し、使用した用具を元の位置に戻し、ワイヤレスアンプや灯油ボトルなど事務室からの貸出備品等は事務室にお返しください。
- ⑩ 翌朝に残灰の清掃をしてください。残灰はペール缶に入れ、各灰捨て場に捨ててください。

14. キャンドルファイアについて

- ① 施設から貸出しできる備品は、燭台、防火安全マット、養生テープ（防火安全マットの床貼り付け用）、手燭台（キャンドルサービス用）、点火用の手燭台（キャンドルトーチ）、使用済みろうそくを入れるバケツ、ワイヤレスアンプ（カセットテープ使用可）、ハンドマイク、延長コード、CD ラジカセ、火の神の衣装です。各備品の数量には限りがあります。

【燭台】



【手燭台】

（キャンドルサービス用）



【点火用の手燭台】

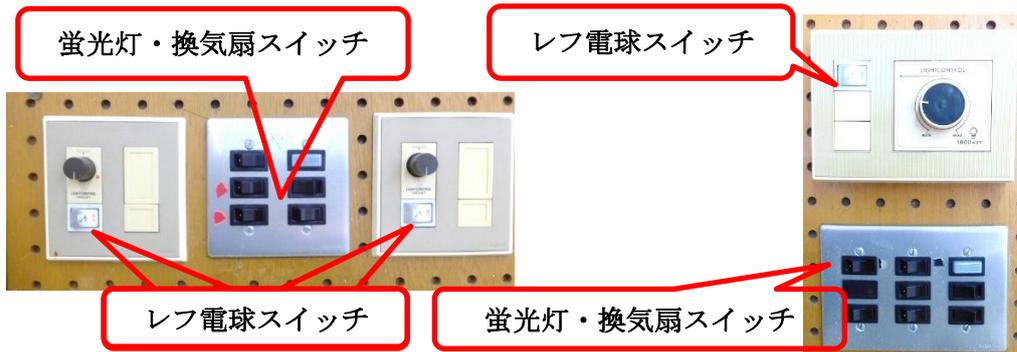
（キャンドルトーチ）



- ② マッチ（ライター）、その他必要な物を準備してください。
- ③ プレイホール（または研修室）の中心部に防火安全マットを敷き、その上に燭台を設置し、燭台に必要な数のろうそくを立てます（約 20 本立てられます）。
- ④ 使用済みろうそくを入れるバケツと手燭台や点火用の手燭台を使用する場合は、必要数を準備します。
- ⑤ 燭台に設置したろうそくは、一度点火しておくとお本番での点火がしやすくなります。
- ⑥ 点火の際は、火傷をしないよう燭台の中央に立てたろうそくから手前に向けて点火します。
- ⑦ 冷暖房を使用する場合は、エアコンの風がろうそくの炎に当たらないよう、燭台の設置場所に注意してください。
- ⑧ キャンドルサービスでろうそくの火を移すときは、溶けたろうが床に落ちないように、火が付いていないろうそくを火の付いているろうそくに傾けて分火してください。
- ⑨ プレイホール（研修室）の蛍光灯とレフ電球（オレンジ色の電球）のスイッチがあります。電灯をすべて消すとろうそくの火だけでは暗くなりますので、調光ボリュームが付いているレフ電球を活用してください。

【プレイホールの電灯スイッチ】

【研修室の電灯スイッチ】



- ⑩ キャンドルファイアの片づけは、使用後のろうそくをバケツに廃棄してください。
- ⑪ 大燭台・防火安全マットをプレイホール（または研修室）の元の位置に片付けてください。
- ⑫ 貸出備品は事務室にお返しく下さい。

【キャンプファイア・キャンドルファイアの活動例】

1. キャンプファイア・キャンドルファイアの役割

① 営火長(ファイアチーフ)

ファイア全般の総責任者。はじめの言葉やおわりの言葉を担当します。

② 進行係(エールマスター)

常に全体の雰囲気を知り、ユーモアに富んだ演出で盛り上げたり静かにさせたりしながら歌やゲームなどのプログラムをリードします。ファイアが成功するかどうかは、この進行係の演出いかんによります。臨機応変に手際よく軽快な動作や機知に富んだ言動で雰囲気をつくるのが重要です。

③ 営火係(ファイアキーパー)

ファイアのプログラムに合わせて、火(室内ライト)の調整を行います。進行係と事前に進行内容を確認し、進行に合わせた火の大きさを加減します。ファイアの主体は火であることから、薪の補充は目立たないようにプログラムの合間を縫い、キーパー自身が黒子に徹することが重要です。

④ 点火係(トーチランナー)

火を付けたトーチ(キャンドルトーチ)で薪組みの上部(燭台のろうそく)に点火します。点火の際は、トーチ棒を水平より下に向けると火が手元に近づくため、低い姿勢で上に向けて点火しましょう。

2. キャンプファイア・キャンドルファイアの進め方

① 整列し、全員にファイアの注意事項の伝達や心がまえの約束ごとなどをします。

② 静かにファイア場に入場し、火床を中心に円形に囲みます。

③ 営火長が「はじめの言葉」を話します。

④ 点火係がトーチ(ろうそく)に火を付けて入場し、点火口の前に整列します。

⑤ 点火前の演出を経て点火します。

⑥ 参加者を引きつけ、点火直後にふさわしい歌やゲームを演出し、徐々に盛り上げていきます。

⑦ 全員で楽しめる歌やゲーム、フォークダンス、グループのスタンスなどのプログラムを進めます。

⑧ 徐々に静かな雰囲気の歌やゲームを演出します。

⑨ 営火長が「おわりの言葉」を話します。

⑩ 余韻を残し、静かにファイア場を退場します。

3. 指導上の留意点

① 全体の流れは静→動→静のリズムで、最初は静かな雰囲気から徐々に盛り上げ、最後は静かな雰囲気で終わらしましょう。

② 参加者全員が主役となれるよう、全員が参加できるプログラムを展開しましょう。

③ 小道具や衣装は、あり合わせのものを工夫して利用しましょう。

④ 暗がりの中での活動となるため、周囲を整理整頓し安全を確保しましょう。

[参 考]

『はじめの言葉』

皆さん、こんばんは。

つい先程まで光を与えてくれた太陽は、るり溪の山並みに沈み、ここ少年自然の家もすっかりと夜のとばりに包まれました。

この星空のもと、今日これまでの活動を振り返り、新たな明日への活力を燃やし、私たちの友情の輪を広げるため、ただいまよりキャンプファイア（キャンドルファイア）の火を迎えます。

火は、遠い昔から私たち人間に、生きる喜びや勇気を与えてくれました。

私たちの祖先は、数千年の時を越えて、火に感謝し火を大切にしてきました。

火の光と熱で、闇夜を照らし、獣から身を守り、食べ物に火を通したり、物を作ったりすることに役立ててきました。

それでは、今から皆さんに4つの火を捧げることにします。

これからの時代を生きる若い皆さんに、心の中に灯し続け、大切にしてほしい火です。

1つ目は、信頼の火です。

信頼関係の中で、人は力を発揮できます。相手を信頼し、自分も信頼してもらえる、そんな人間関係を築きましょう。

2つ目は、友情の火です。

友だちを大切にし、絆を深めていきましょう。そして、本音でぶつかり合える仲間をつくりましょう。

3つ目は、意志の火です。

意志とは、あることをしようと自分の心に誓うことです。自分でやろうと決めたことを最後までやり遂げる強い志をもちましょう。

4つ目は、希望の火です。

人は、生きていく上で様々な困難に出会います。どんなことがあってもあきらめず、希望を胸に力強く生きていきましょう。

では、聖なる火のもと、今宵楽しく過ごそうではありませんか。

『おわりの言葉』

今宵、みんなが同じ火を囲み、お互いの絆を深めました。

ここで生まれた深い絆は、みんなの心の火であり、未来を照らす光です。

キャンプファイア（キャンドルファイア）の火は、私たちに様々なことを教えてくれています。

1つ目に、火は私たちに明るさを与えてくれ、みんなの元気な顔や姿を照らし出してくれました。

私たちも、周りの人がいつも笑顔でいられるような明るい人でいてくださいと教えてくれています。

2つ目は、火は暖かい熱を与えてくれました。

寒い時、私たちは暖かさを求めます。

火は暖かい熱を私たちに与えてくれ、寒さから私たちの身を守り、心や体を暖かくしてくれます。

私たちも、あたたかい思いやりのある人でいてくださいと、火は教えてくれています。

3つ目は、火は力を示すということです。

キャンプファイア（キャンドルファイア）の火は、一本の薪では大きな火にはなりません。

井桁に組まれた上の薪は下の薪にしっかりと乗り、下の薪は上の薪をしっかりと支え、一本一本の薪ががっちり組まれていたからこそ、あんなに大きな炎になったのです。

私たちも、一人ひとりの力ではできないことでも、友だちが集まってお互いに協力し合えば、素晴らしいことができます。

火は、私たちに友だちの大切さや協力することの大切さを教えてくれています。

最後に、火は、薪自らの身を燃やししながら、私たちにキャンプファイア（キャンドルファイア）の楽しい時間を提供してくれました。

私たちも、自分のことだけではなく、友だちや家族を思いやり、人のために役に立てる人になりたいものです。

キャンプファイア（キャンドルファイア）の火は、私たちに決して語りかけることはありませんが、こうして消えゆく目の前の火は、みんなの心に火を付け、皆さんの中で燃え続けます。

心の火種は炎のように大きく成長し、人の痛み、悲しみがわかり、人に喜びを与えることのできる人になっていってほしいと思います。

15. 入浴・消灯について

- ① 浴室1の定員は15名でシャワーとカランの数は各12台、浴室2の定員は20名でシャワーの数は15台、カランの数は13台です。
- ② ボディーソープ、リンスインシャンプーは備えています。アレルギーその他の理由がある場合はご持参ください。
- ③ 団体毎の所定の時間内に入浴を済ませてください。なお、教員の入浴が消灯時間までに設定できない場合は、入所ミーティングで確認した時間に入浴してください。
- ④ ドライヤーは浴室1に1つ、浴室2に2つ設置しています。
持参する場合、各宿泊室で複数台使用するとブレーカーが落ちる可能性がありますので、宿泊室1室につき1台のみ使用してください。
- ⑤ 消灯は22時です。消灯時刻には廊下など共用箇所の電灯を消し、玄関は施錠しますので、それ以降は各宿泊室で静かにお休みください。また、日帰り利用の方は、消灯時刻までに退出してください。



16. 清掃・点検について

- ① 1団体で利用の場合は、使用したところすべてが清掃の対象です。2団体の場合は、人数比や主な使用場所に応じて、事前協議会で分担したところの清掃をしてください。
- ② 清掃時に出たゴミは事務室前のゴミ箱に捨ててください。また、可燃物・不燃物を問わず、学校園の出されたゴミはお持ち帰りください。
- ③ 共用場所や宿泊室の清掃等は、朝食前後の午前の活動までに設定し、宿泊室の荷物はすべて入所式で確認した場所に移動してください。
- ④ 入所ミーティングでお渡しした「宿泊室の退所点検チェック表」にしたがい、担当教員による清掃のチェック、宿泊室の清掃、布団・毛布の点検を行い、問題がなければ9時30分までを目処に「宿泊室の退所点検チェック表」を返却してください。それ以降は宿泊室に入れません。

【事務室前のゴミ箱】



【清掃場所と内容】

場 所	標準人数	内 容
宿泊室	5人	○使用した寝具をたたんで棚の前に置く。 ○たたみの上をほうきではき、ゴミ箱のゴミを捨てる。 ○荷物入れの中をぞうきんでふく。 ○ベランダのゴミを拾い、はき物をそろえる。 ○網戸側の窓を開きカーテンは束ねる。 ○電灯・冷暖房をオフに、換気扇はオンにする。
宿泊室前の廊下 ①1階 ②2階	各3人	○専用そうじ機で掃除する。
階 段 ①階段1 ②階段2	各2人	○専用そうじ機で掃除する。 ○階段の手すりをぞうきんでふく。
洗面所・トイレ ①1階 ②2階 ③玄関 (トイレのみ)	各6人	○床のゴミをほうきではく。 ○便器を洗う。 ○洗面台のごみを捨てる。○スリッパをそろえる。 ○女子トイレ各個室の、トイレポットのゴミを回収する。 ○トイレトーパーを補充する。
玄関ホール	6人	○専用そうじ機で掃除する。
玄関ポーチ 玄関土間	8人	○ゴミを集めて捨てる。 ○マットのよごれを取り除く。 ○ほうきではく。 ○土間用そうじ機で土間のゴミを吸い取る。
プレイホール	8人	○モップ・ほうきでゴミを集めて捨てる。
研修室	6人	○モップ・ほうきでゴミを集めて捨てる。
クラフト棟	8人	○机をふく。 ○モップ・ほうきでゴミを集めて捨てる。 ○渡りろうかとデッキをほうきではく。
談話室	4人	○専用そうじ機で掃除する。 ○ベランダのはき物をそろえる。
脱衣所	各4人	○ほうきではく。 ○洗面台のごみを捨てる。 ○棚をぞうきんでふく。○ゴミを捨てる。
食堂前の廊下	4人	○専用そうじ機で掃除する。 ○流し台のゴミを捨てる。
キャンプ場 (テント泊のみ)	全員	○テントサイト・野外炊飯場・トイレを清掃する。 ○キャンプ場周辺のゴミを集めて捨てる。

※ 清掃時に出たゴミは事務所前のゴミ箱に捨ててください。

※ 清掃時に必要なぞうきん、補充用のトイレトーパーは事務所前にあります。

【退所点検チェック表】

No	宿泊室
①	使用した寝具は、たたんで棚の前に置いてください。
②	部屋を掃除し、ゴミ箱のゴミは事務所前のゴミ箱に捨ててください。
③	カーテンを束ね、網戸側の窓を開けてください。
④	電灯・冷暖房のスイッチを切り、換気扇を回してください。
⑤	荷物は全て部屋から出し、忘れ物がないか確認してください。

17. 精算・退所について

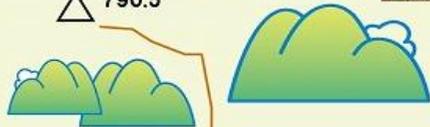
- ① 入所ミーティングでお渡しした「消耗品等使用申込書」及び「冷暖房使用申込書」の内容が確定（見込みを含む）次第、事務所に提出してください。これらを受理後に精算の準備を行いますので、精算は退所前の昼食前後となります。
- ② 退所式は12：45までに行い、13：00には完全退所してください。
- ③ プレイホール（研修室・クラフト室）を出られる際は、忘れ物がないかどうか確認してください。退所後に忘れ物があった場合は、必要に応じて着払いで送付します。
- ④ 入所ミーティングでお渡しした「Free Wi-Fi カード」をはじめ、貸出し備品はすべて退所までに事務所に返却してください。
- ⑤ 今後の施設運営の参考とするため、退所時に入所ミーティングでお渡しした「ご利用に関するアンケート」の記入にご協力をお願いします。

るり溪少年自然の家 周辺マップ



みやま
深山

△ 790.5



るり溪と12の名勝

掃雲峰(そううんぼう)

2

座禅石(ざぜんせき)

4

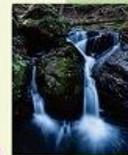
鳴瀑(めいばく)

3

錦織巖(きんしゅうがん)

バス停 榎

溪流歩道入口



るり溪遊歩道

水晶簾(すいしょうれん)

爛柯石(らんかせき)

鱗蝶泉(たいとうせん)

湯蚪潤(かつきゅうかん)

双龍淵(そうりゅうえん)

玉走盤(ぎょくそうばん)

会仙巖(かいせんがん)

るり溪温泉

るり溪温泉 本館

京都府立 るり溪自然公園

るり溪ゴルフクラブ

GRAX (グランピング)
HAMINGBARD 通天湖

溪流歩道入口

通天湖(つうてんこ)

るり溪やぎ農園

クイズラリーコース

京都府立
るり溪少年自然の家

深山ハイキングコース
登り口
看板があります



バス停 るり溪橋

バス停 るり溪

至 京都

大河内

54

453

173

731

54

至 大阪

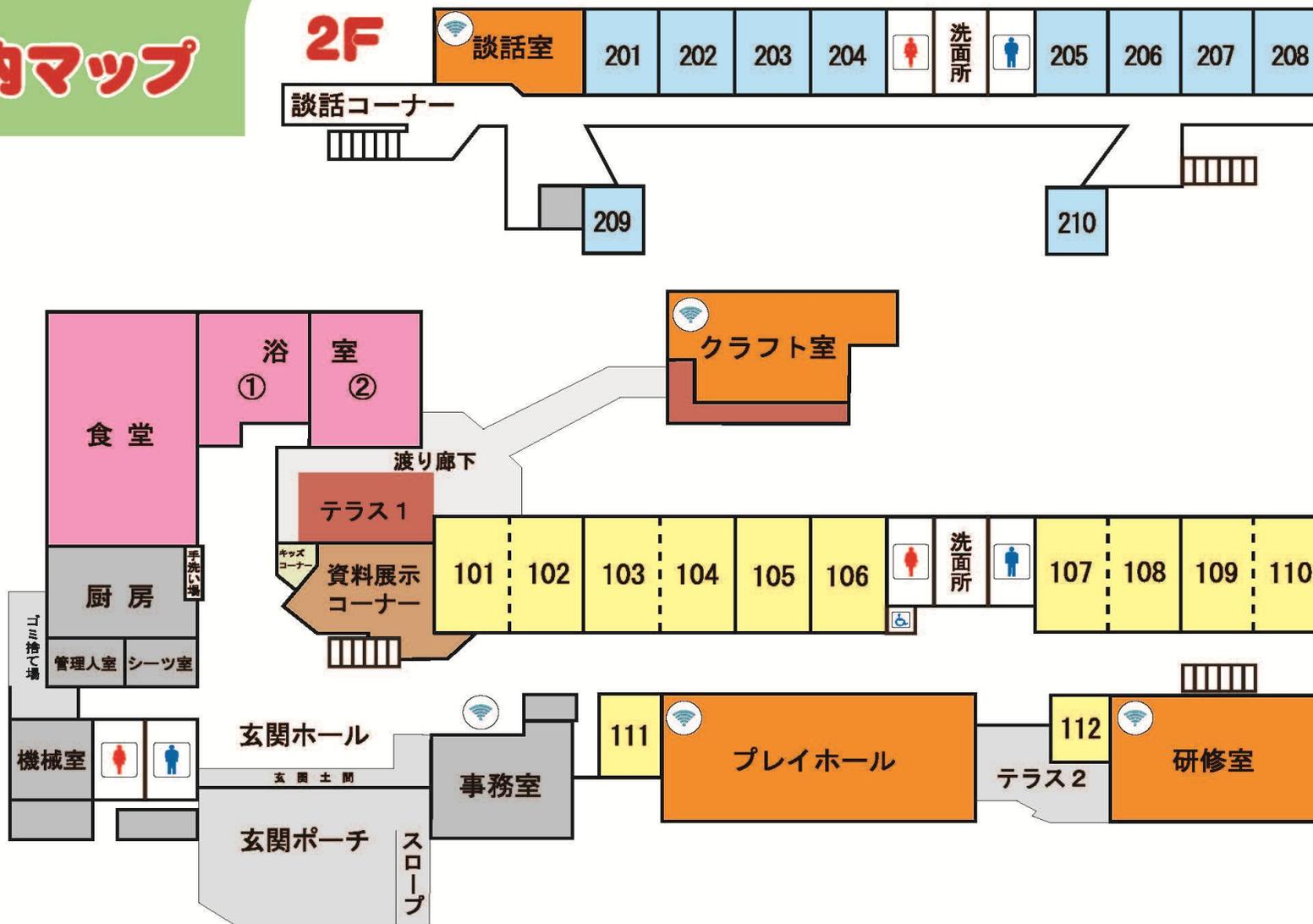
至 京都

るい溪少年自然の家 施設マップ

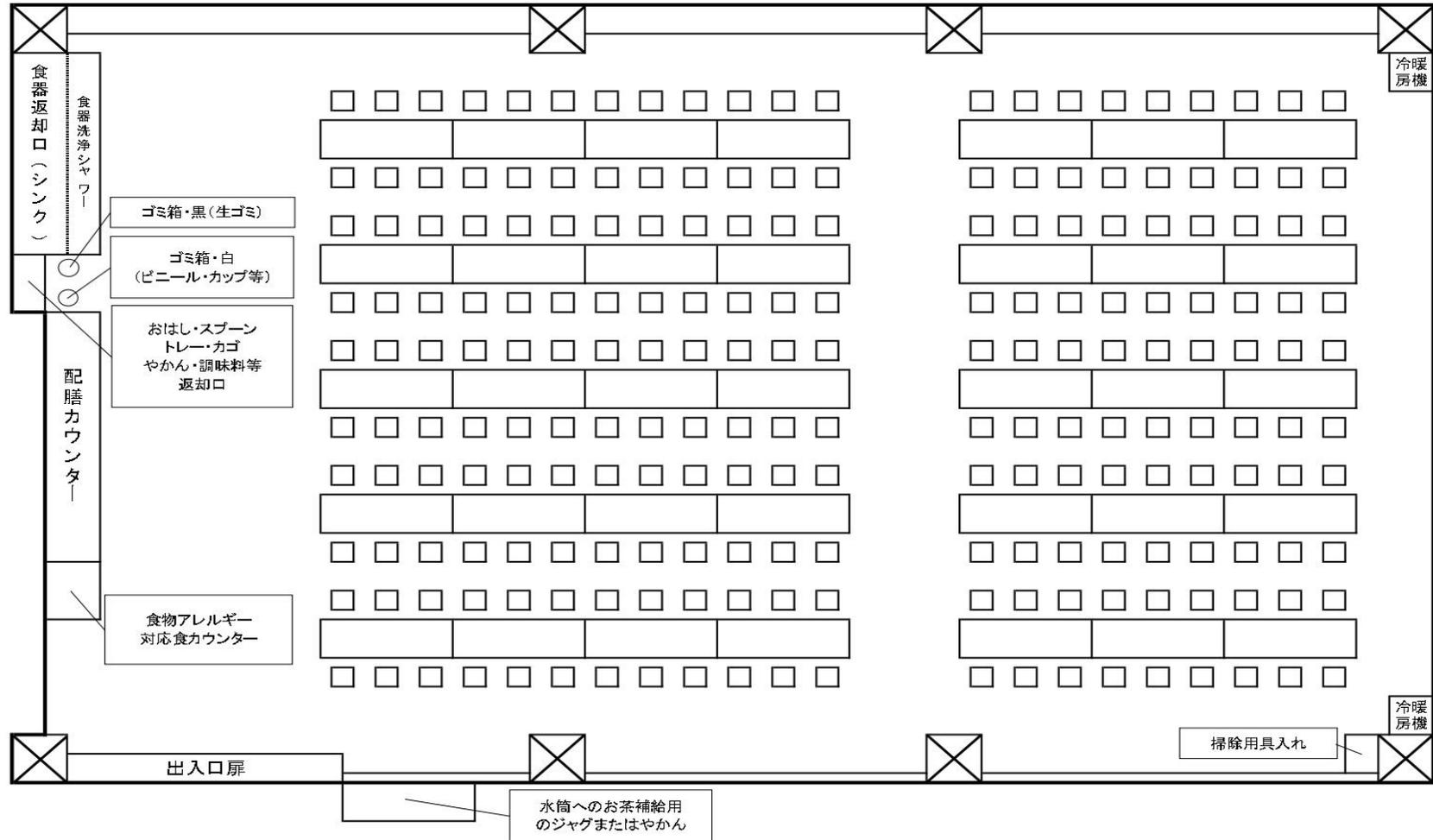


館内マップ

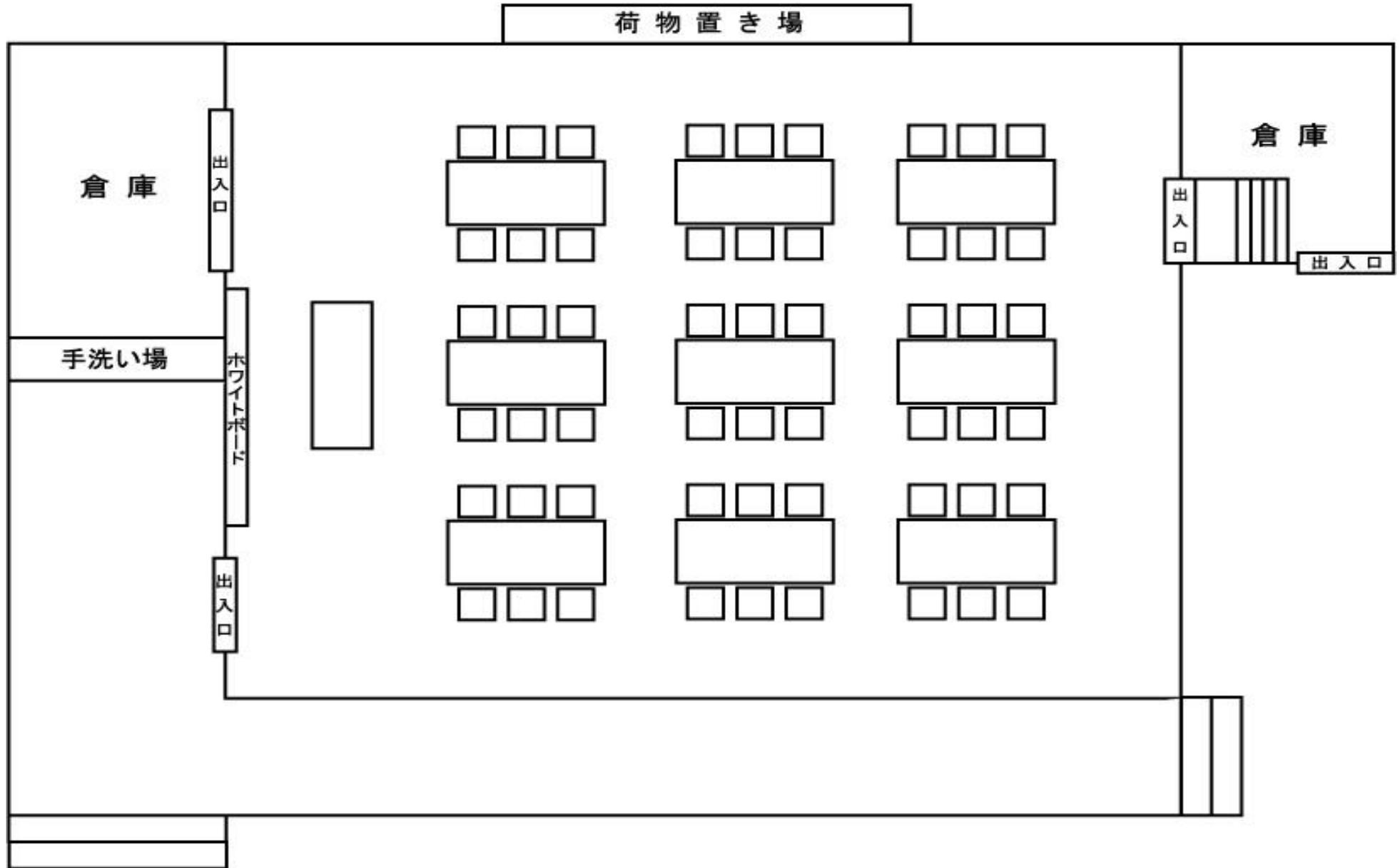
1F



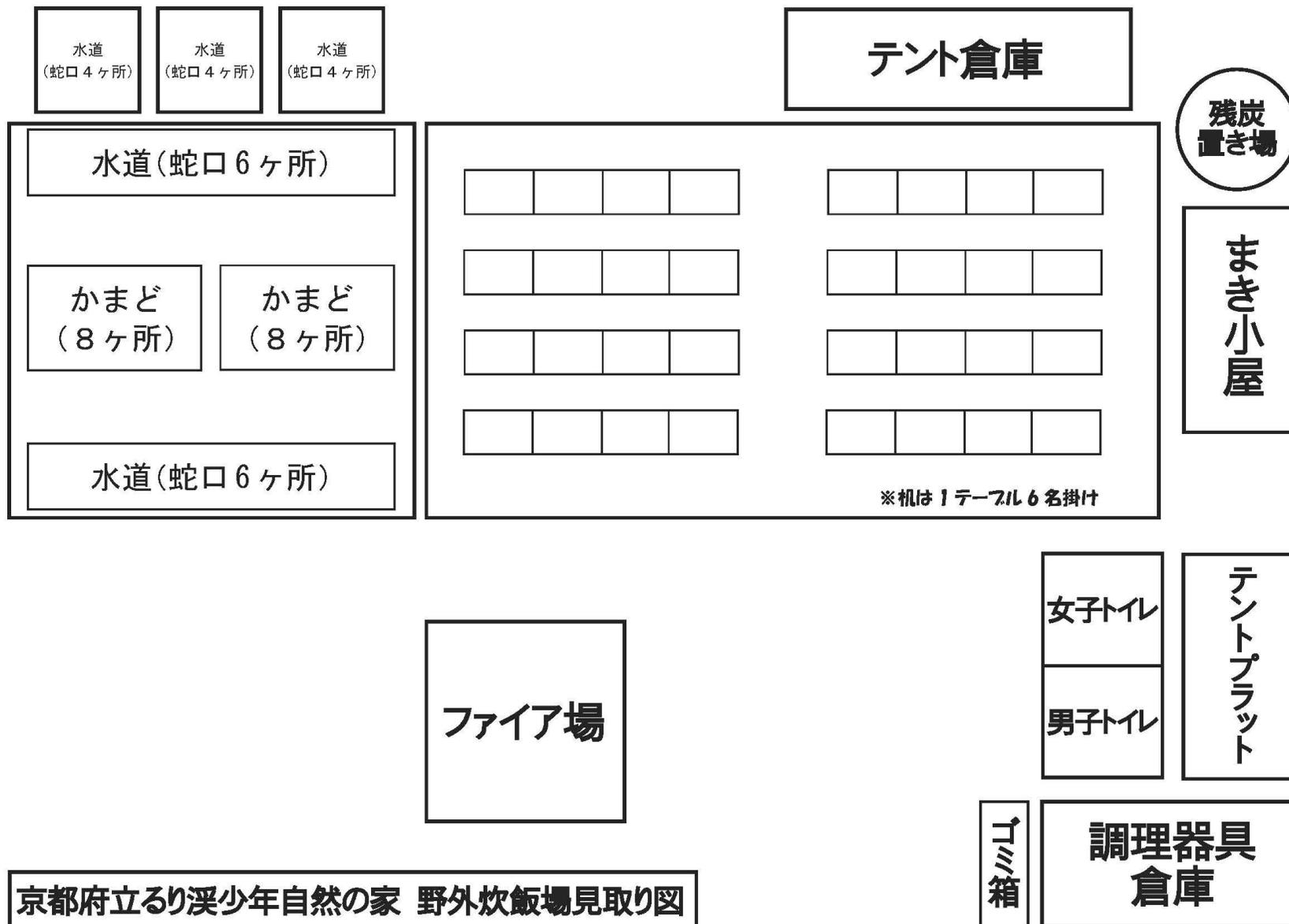
【食堂平面図】



【クラフト棟平面図】



【野外炊飯場平面図】



クイズラリーマップ

■標準コース (90分)



スタート:	時	分
ゴール:	時	分
所要時間 ()	分	

チェックカード

■最短コース (20分)

スタート → ① → ② → ③ → ⑳ → ゴール

■中級コース (50分)

スタート → ① → ② → ③ → ④ → ⑤ → ⑥ → ⑦ → ⑱ → ⑳ → ゴール

班 名前

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20



グリーンアドベンチャー 問題！

1. 毎年6月ごろになると、この池の上にかかる木の枝には、ソフトボールぐらいの大きさの卵がぶらさがるんだ。何の生き物の卵でしょう？

①アワフキムシ ②カマキリ ③モリアオガエル

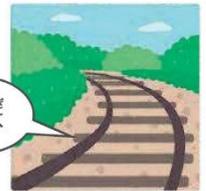


2. この木は「コナラ」というんだ。よく見ると根もとで幹が二つに分かれているよね。なぜわかれているんだろう？

- ①この木は、小さいときに数本に枝分かれする性質がある。
②人間によって切られたところから、新しい芽が出てきた。
③切り株の上に、どこからか種が二つ飛んできて芽が出てきた。

3. この木は、堅くて腐りにくく、虫もよせつけない特徴から、以前は「枕木」の材料として使われていたんだ。この木の名前は？

①コナラ ②クリ ③アラカシ



4. この木は、雑木林の代表とも言われているんだ。こころり溪周辺では、「炭」の材料によく使われていたんだ。この木の名前は？

①コナラ ②クリ ③アラカシ



5. よくみると、石がたくさん積んであるよね。この石積みは何の跡だろう？

①古代人の住居跡 ②古墳跡 ③炭焼き窯跡



6. この木は「松」と一般的に呼ばれているんだ。なんとという名前の「松」でしょう？

①クロマツ ②アカマツ ③ダイオウマツ

7. このあたりには、大きな葉っぱが落ちてきているよね。この葉は、「ほおの木」に茂っているんだ。岐阜県の高山周辺では、この葉を使ってしていたことは？

- ①フライパンの代わりに、葉の上で味噌やキノコ、肉などを焼いていた
②大きくて縁起がいいので、お店の玄関などに飾っていた
③紙がない時代、「郵便はがき」として、使われていた



ゴールまで
あとちょっと

8. この木は、風が吹くと音がることから、名前が付いたんだ。この木の名前は？

①ヤマナラシ ②ソヨゴ ③ヤマブキ

9. この木は、日本原産の固有種で、耐久性と保存性が高く、また木目が美しく香りも良いため日本家屋の高級建築材料として利用されてきたんだ。この木の名前は？

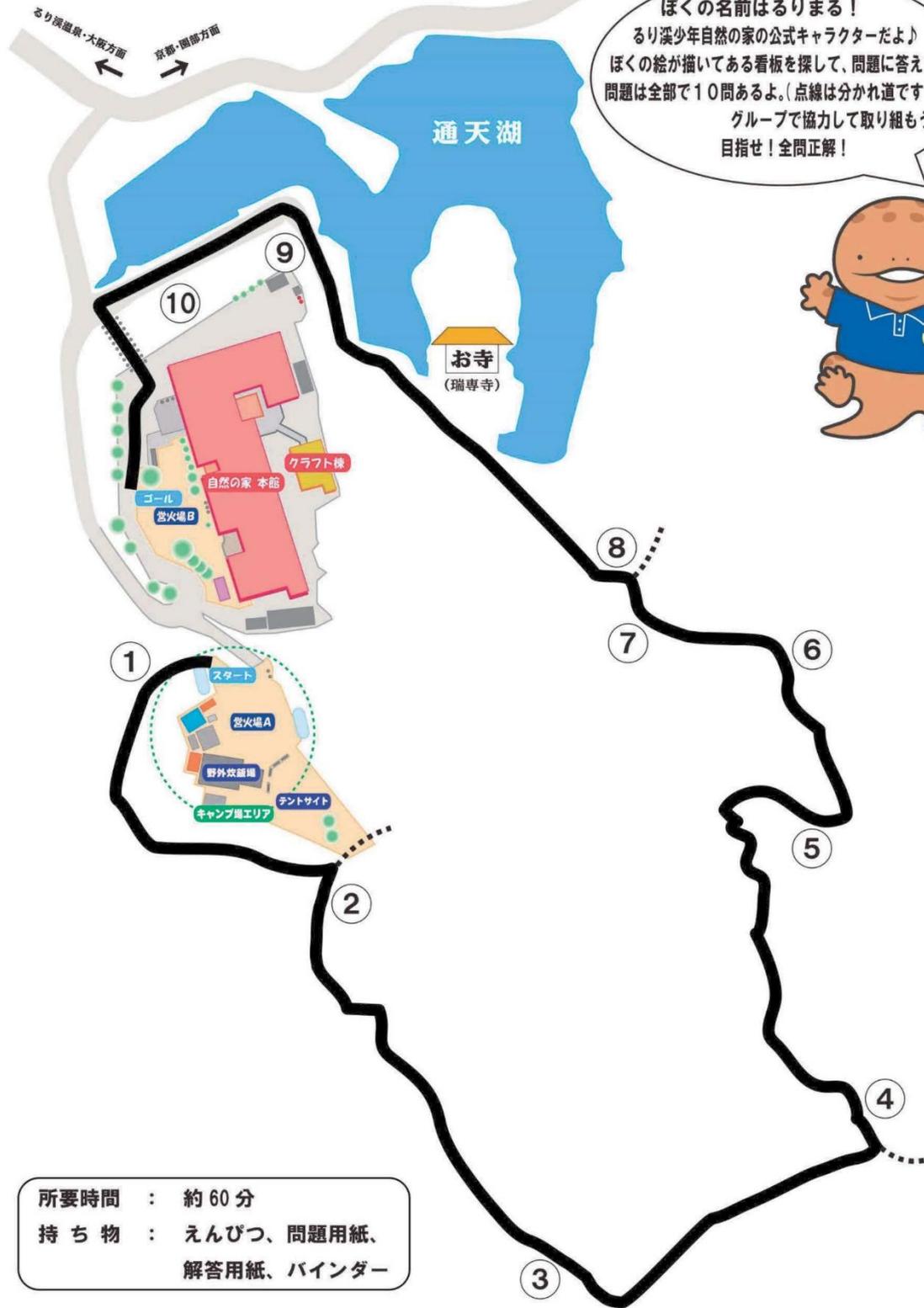
①アカマツ ②スギ ③ヒノキ



10. この木は「リュウブ」というんだ。この木の幹は、ある動物が好んで皮をはぎ、食べてしまうんだ。その動物の名前は？

①シカ ②サル ③リス

グリーンアドベンチャー



ほくの名前はるりまる！
 るり溪少年自然の家の公式キャラクターだよ♪
 ほくの絵が描いてある看板を探して、問題に答えてね！
 問題は全部で10問あるよ。(点線は分かれ道です)
 グループで協力して取り組もう♪
 目指せ！全問正解！



所要時間 : 約 60 分
 持ち物 : えんぴつ、問題用紙、
 解答用紙、バインダー

【チェックカード】 班 名前 _____

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----